

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者の方が、年々、重度化しており、外出の機会が少なくなっている。	重度の方でも、外出する機会を多く設け、日常生活に刺激を与え、気分転換を図り、QOL拡大とする。	入居者の方の行きたい所に行けるよう、個別に外出できる機会を、1ヶ月に1回以上、設けるようにする。	24ヶ月
2	50	認知症が重度になるにつれて、金銭管理することが少なくなっている。	認知症があっても、外出し、買い物をして、お金を使うという喜び、能力を失わないようにする。	入居者の方の好きな物を買に行き、お金を使う支援をする。	24ヶ月
3	26	面会時や電話連絡、また月1回の議事録送付等をし、御家族への状況説明を行ない介護計画作成しているが、なかには、十分な説明を受けていないと感じている御家族がいる。	ご家族にも、ご本人の状況をきちんと理解していただき、ご本人のための介護計画を作成し、実践していく。	アセスメント、モニタリング、プラン作成を、ご家族が十分に理解していただけるよう、きちんと説明する場を必ず設けるようにする。	36ヶ月
4	38	入居者が重度化しており、入居者1人1人のペースに合わせているが、希望を把握しにくい状況にある。	重度の入居者の方でも、出来る限り、希望を把握し、支援を行なえるよう、更なる努力をする。	職員1人1人が、入居者1人1人のペースや希望を把握し、尊重できるように、担当を決め、アセスメントを行い、日常生活の支援に活かせるようにする。	12ヶ月
5	34	定期的に勉強会を通して訓練しているが、全ての職員が対応できていない。	全ての職員が、応急手当を身につけ、急変時の初期対応が出来るようにする。	全職員が、普通救命講習を受講し、応急手当を身に付けるようにする。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。